

# T1-CAS を介した Cisco IOS ゲートウェイと MX/Alliance タレットの統合

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、T1 個別線信号方式 ( CAS ) を使用して、Cisco IOS® Gateway と MX/Alliance Turret System を統合するためのソリューションについて説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- T1-CAS
- 音声用 Cisco IOS ゲートウェイの設定方法

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

このトポロジを参照してください。

• IP フォン-->Cisco CallManager--H.323-->2851--T1CAS-->MX/Alliance タレット システム  
MX/Alliance T1 は Foreign Exchange Station ( FXS ) のループスタートおよび Super Frame ( SF ) /Alternate Mark Inversion ( AMI ) 用に設定されています。Cisco 2851 サービス統合型ルータの T1 コントローラを Foreign Exchange Office ( FXO ) のループスタートおよび SF/AMI 用に設定すると、IP Phone からタレットへのコールは正常に動作します。しかし、2851 は、MX/Alliance で使用されるシグナリングが標準的でないことが原因で、MX/Alliance からの着信通知を認識しません。

## 解決策

Cisco IOS ゲートウェイの T1 コントローラと MX/Alliance タレット システムの間に RAD Vmux 2100 回線エミュレータ/転送デバイスを挿入します。Vmux 2100 は時分割多重 ( TDM ) を IP に変換してから TDM に戻すため、MZ/Alliance を T1 FXS ループスタート、SF/AMI として設定したままで、Cisco IOS ゲートウェイ T1 コントローラを E&M の即時スタート、ESF/B8Z 用に設定することができます。

次の手順を実行します。

1. 製造元から提供されている手順に従って、Vmux 2100 を Cisco IOS ゲートウェイの T1 コントローラと MX/Alliance タレット システムに接続します。
2. 「[トレーディング タレットのための Private Line Automatic Ringdown](#)」で説明した手順を使用して、Cisco IOS ゲートウェイを設定します。

## 関連情報

- [トレーディング タレットのための Private Line Automatic Ringdown](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)